



円高効果 単純じゃない

ファンには二つの気持ちがあると
思う。一つは、地元クラブや地元出
身選手を応援する気持ち。もう一つ
は、スペクタクルな試合や芸術的プ
レーを求める気持ち。私の講義を聴
くサッカー好きな学生の多くは中学
生頃から欧州サッカーを見て審美眼
を持つ。だからJリーグにも闘争心
とファンタジーを求める。

そんな学生は、一挙手一投足にワ
クワクできる外国人選手をJリーグ
でも見たがる。そして、よく「円高

の今こそ良い外国人選手を買えない
のですか？」と聞いてくるのだが、
サッカー界の円高効果を説明するの
は難しい。

野球はシンプルだ。基本的に米国
から選手を買うので円高ドル安の恩
恵を受ける。Jリーグと違い、親会
社も製造業が少なく不況の直接的な
影響が小さい。サッカー界では欧州
のユーロだけでなく全世界経済の影
響が絡む。中東オイルマネーとの競
合、韓国のウォン安。見過ごせない

のはブラジルのレアル高だ。今や経
済大国のブラジルに対し、日本は有
利な立場にない。エメルソン（浦和
↓カタール）ら若く有望な人材を獲
得しづらくなった理由だろう。

しかし、継続的に好選手を連れて
くる新潟や川崎、最近の名古屋、他の
Jクラブから選手を引き抜くが大阪
や鹿島、浦和が実績を残す一方、横
浜マなど失敗を重ねるクラブも多い
現状は残念。在ブラジル日本大使館
勤務時代に移籍をお手伝いした経験
からみれば、成功クラブは腰を据え
て外国人選手受け入れの専門家を育
てている。選手を見極め、日本で潜在
能力を発揮させるノウハウや人脈は

継続的な取り組みなしに培えない。

また、製造業出身のクラブ経営者
は外国選手獲得にコストカット的な
発想を持ち込みがちだが、いかな
ものか。選手はレアメタルや石油と
同じ。希少で戦略的運用が求められ
るものには、高ければ高いだけの値
打ちがあることを理解するべきだ。

魅力的な外国人選手はアウエーの
集客にも効果をもたらし、Jリーグ
のブランドも高める。日本人選手の
レベルアップにもプラス。ほとんど
のクラブが賛同するような大物獲得
にJリーグが一部を負担する手法を
模索してもいいと思う。